



2012年2月9日

各位

件名：東京港における海上コンテナ輸送用トレーラー不足の状況について

昨年来、東京港における慢性的な海上コンテナ輸送用トレーラー（通称：ドレー）の不足状態が続いており、お客様にも多大なご迷惑をお掛けしていることと存じます。

現在の状況及び今後の見通しについてご報告申し上げます。

ここ数年、徐々に悪化を続けてきた東京港のドレー不足ですが、特に昨年3/11の震災以降急速に不足状況が悪化しました。当初、被災した東北の港の貨物が東京港に移ったこと、及び救援・復興物資の輸送の為にトレーラーヘッドが取られたことなどを原因とする一時的なものと考えておりました。

しかし原因は東京港の構造的な問題であり、今後も短期間での解消は期待できない見通しです。

現在の東京港は輸出入共に同じ状況で、ターミナルに並んでからコンテナを積んでもらいターミナルを出るまでに3~4時間、荷降ろし・荷積み後、運んできたコンテナをターミナルで受け取ってもらうために同じく3~4時間かかっています。輸送時間を除き、1本のコンテナを取り・返すためにだけに6~8時間を費やしているわけで、これがドレー不足の最大の要因となっています。

ターミナル混雑の原因は、コンテナの取扱量が毎年増加しているのに対して、コンテナヤードの面積・蔵置能力及び荷役の能力が変わっていないことです。またこれによる長い待機時間＝拘束時間と、車両の回転率の低下による売上の減少がドライバー離れと不足をもたらし、ドレー自体の絶対数も減少しています。これがさらにまた慢性的なドレー不足に拍車を掛ける結果となっています。

混雑への改善策として、中央防波堤外側埋立地の新たなターミナルの整備等が計画されていますが実現には数年かかります。また昨年12月より、渋滞問題を解決するための社会実験として、通常よりも1時間早い7時30分よりの「早朝ゲートオープン」が行われています。これによる作業の前倒しで午前中の回転率は良くなったものの、前日積んで午前中に配達している車両には効果が感じにくく、また、ターミナルによって対応する曜日や作業内容が異なっていることも効果が上がらない原因になっています。

わずかながら混雑緩和の手助けになっているこの社会実験も期間が2/29までになっており、業界では期間の延長を要望中です。

以上のようにドレー不足が緩和されるまでにはまだまだ時間がかかる見込みですが、弊社といたしましては、ドレー業者との連携を深め、また新たに信頼できる取引業者を増やすなど、出来る限り皆様のご要望にお応えできますように最善の努力をしております。

なるべく早く輸出・輸入の情報をご連絡いただくことで、関係各位のご要望に、よりお応えできると存じますので、お客様におかれましても、上記東京港の状況を何卒ご理解いただき、今後とも引き続きのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 共同フレイターズ(通関業、国際複合輸送業)

営業部 : TEL : 03-5418-6371 / FAX : 03-5418-6377

カスタマーサービス部 : TEL : 03-5418-6372~3 / FAX : 03-5418-6380

横浜支店 : TEL : 045-211-2001 / FAX : 045-211-2000

URL : <http://www.kau.co.jp>